



袋井を訪れた観光バス

### 観光の袋井

東海道本線袋井駅で下車するとまず四通八達する交通の中心地ということが感じられる。ここからバスで10分内外、交通至便の地点に東海にその名を知られている、法多山、油山寺、可睡齋等の名勝古刹がうっ蒼たる千古の老杉、古檜の静寂の境にあつて古来参詣遊覧客が絶えず、年間百数十万人と推定されている。いずれも初春を桜花に明けて老齋に耳を傾ける頃ともなれば幾千本の桜が咲きほこり行楽客の眼をたのしませ、やがて青葉に移る頃つつじ、ほとんの花に色どられ思わず感嘆の声を放たしめ夏はうっ蒼たる幽境に涼しさを求めるによく、秋の紅葉は常緑に映えて一層の趣きをそえ、秋葉三尺坊の火祭、法多の田遊祭等年末年始、四季折々に自然の織りなす幽雅な景観は一度訪れた人人の心に永く印象づけられるであらう。

尚法多、油山、富士浅間宮には県下に類稀なる重要文化財が多く見られその他古墳群、旧蹟と数多く点在し、まことに観光の袋井にふさわしい。



遠州秋葉総本殿可睡齋

日本唯一の火防靈場で今より500年前怒仲天閻禪師の開基にして、第11世等腫和尚は徳川家康に帰依せられ可睡の寺号を賜わり拾万石の礼を以て待遇せられた明治6年奥の秋葉山より火防の権現三尺坊の御真体が御遷座された。明治15年有栖川宮熾仁親王殿下より秋葉総本殿の扁額を賜わる。

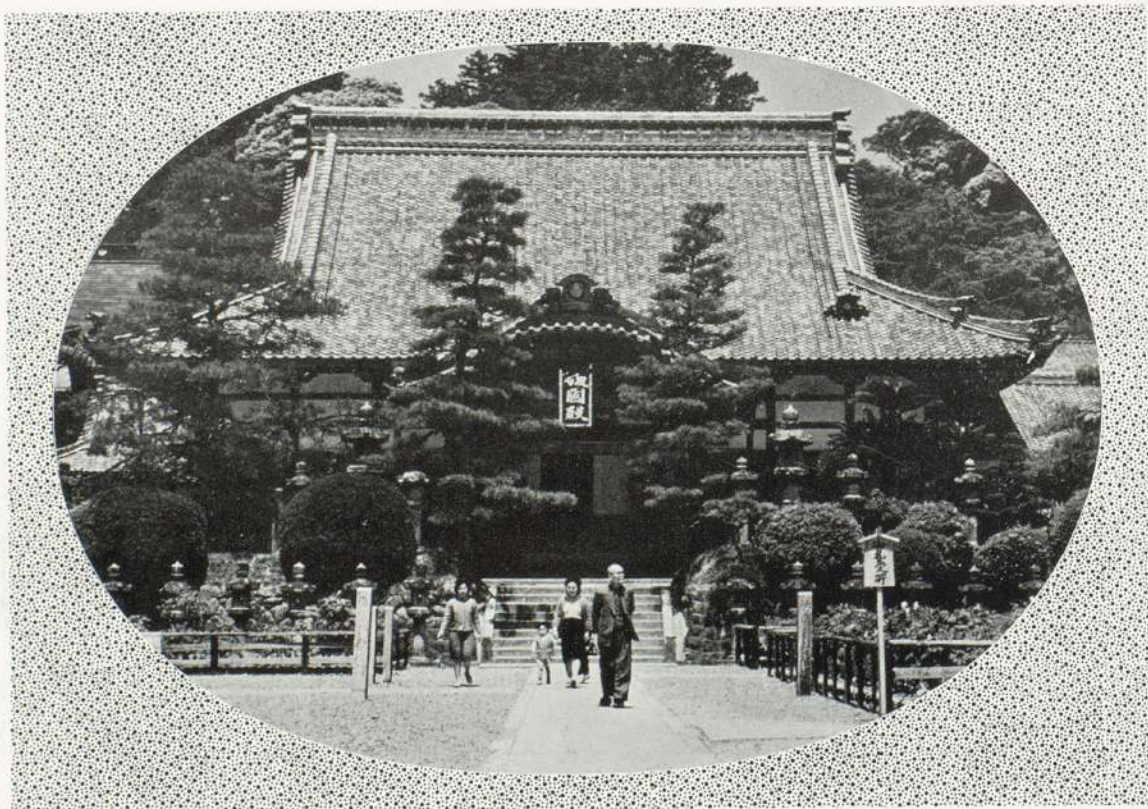
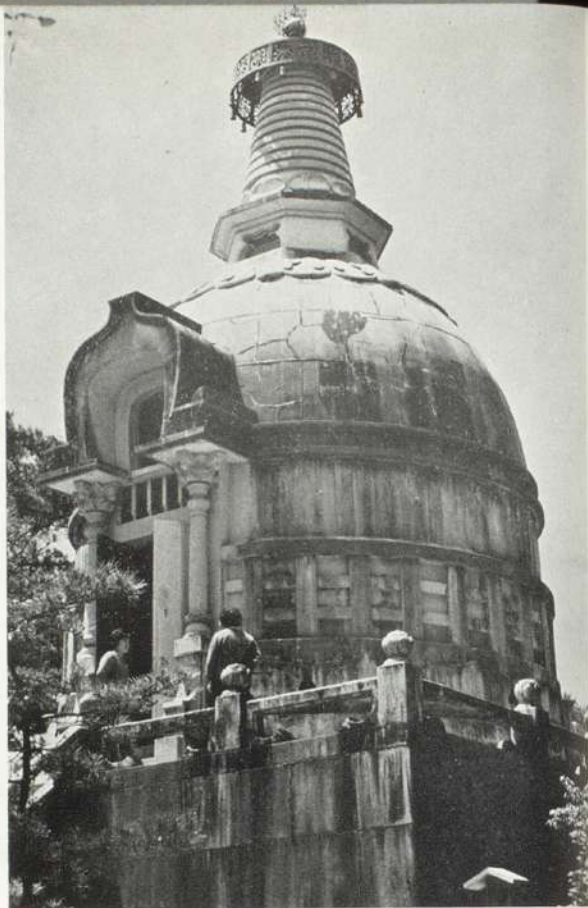
境内にそびゆる忠魂護国塔は、印度最古のガンダラ式の塔で各戦役の戦病死者および功労者の霊並びに全国消防殉戦者の霊を仏式により祀る塔である。

当齋は曹洞宗に属し古来より東海の名刹にして、青年僧侶を教育する専門僧堂である。

護国塔招魂祭	9月28日
奥の院花火大祭	9月28日
火まつり	12月15・16日

名物 天狗あめ、天狗おこし

護  
国  
塔



可 睡 齋 総 本 殿



山 門



火まつり



可  
睡  
の  
朝



厄除観音法多山

法多山はその山号にして、寺号を尊永寺と称し、本尊正観世音菩薩を奉祠する真言の古刹である。俗称には法多観音又は厄除観音として、海道筋の信仰を一堂にあつめている。

その昔神龜二年僧行基勅命を蒙り開創せりと伝えられる。

大同年間空海上人遍歴の砌り留錫し寺坊を草創する。承保元年中観音大悲の靈徳遠く京師に及び白河、後白河兩帝別けて尊信なされ勅使の参向毎歳に及び勅願寺として天下定額寺の列に加えられる。爾來幾星霜天正年中今川氏を初め武門武將相次いで篤信あり法炬を四方に輝かせたが、永祿の戦乱に災禍を受けたれど豊臣、徳川兩公先規に任せ、境内東西50町、南北10町朱印高250石を寄附され諸大名の列に加えられ、明治新政に至るまで一山十二坊を有しておったが、以來学頭坊正法院に統合現在の尊永寺と改称するに至る。境内広く千古の老杉古繪よく茂り観光施設亦調い、参詣観光の登山年中百万と云われている。

名物 厄除法多だんご、ひば人形、桜



仁王門



豆まき



田遊祭



だんご茶屋





山 門

### 油 山 寺

油山寺は1,200年前、孝謙天皇の勅願寺にして行基大師開基の古刹である。

天平勝宝元年孝謙天皇御眼病の砌、るりの滝水を持ち帰り祈禱、この霊水にて玉眼を洗淨されたところ忽ちにして御全快により国使に命じて創立された。

#### 山 門 (重要文化財)

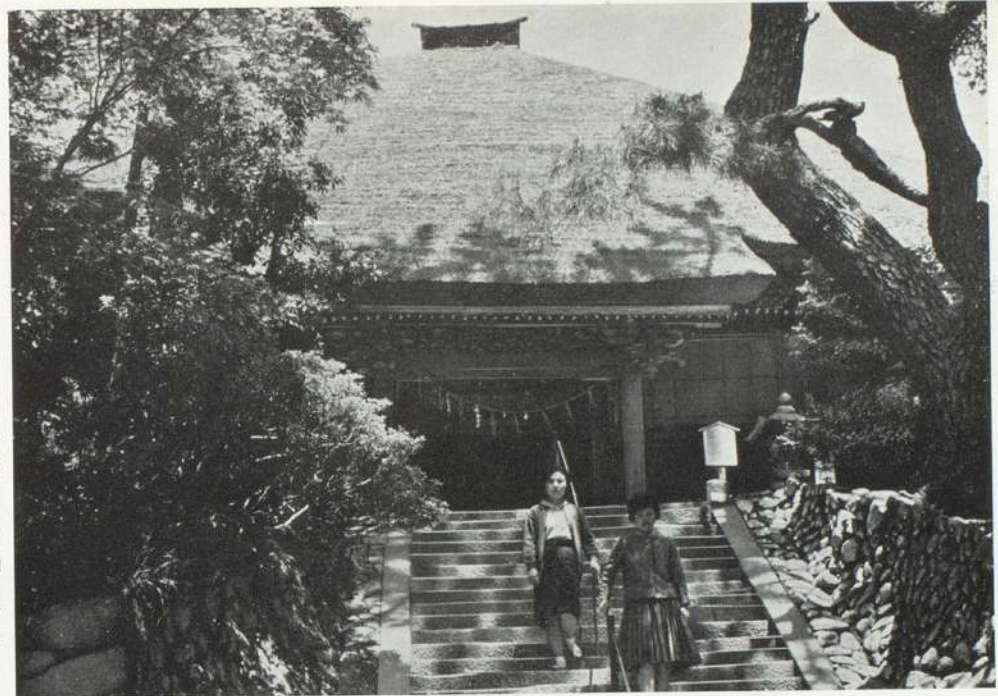
元摂川城の大手門で万治2年井伊大輔(井伊直弼の祖父)の建立で約300年前の建築。明治6年現地に移築された。片漕付の重層槽門で前後に庇屋根の様式は現在日本に残る唯一のもので城郭建築史上重要なものである。

#### 三重塔 (重要文化財)

建久元年源頼朝公の建立。上層唐様式、中下層和様式九輪までの高さ5丈8尺5寸、木割豪壮県下最古の層塔遺構である。



三  
重  
塔



本尊薬師如来御厨子堂

### 本尊薬師如来御厨子

(重要文化財)

今川義元の寄進。妻入宮殿造り前面一間を開放し唾和様三手先支輪付、尾唾の根本にクリ形を設けているのは類例少なく二軒繁極屋根本瓦形板葺で室町時代の立派な建築である



茶祖 栄西 禅師

### 大 福 杉 (天然記念物)

山内鍾守の守護神が雲に駕して空中飛行のときのぼったと云われる大福杉が有る。高さ60尺樹令1,000年県下最古木である。

その他この境内には鱈二個宅対(重要文化財)御盥杉(天然記念物)などがある。



大  
福  
杉





富士浅間宮

木原 巖

元龜3年武田信玄が久能城を攻めた折、本多忠勝とこの木原巖において戦った古戦場である。



木原巖

富士浅間宮 (国宝)

坂上田村麿、東夷征伐の勲、神恩に報い奉らんため斎ままつれる神社で、社殿は国宝に指定されている由緒深い宮である。



参道



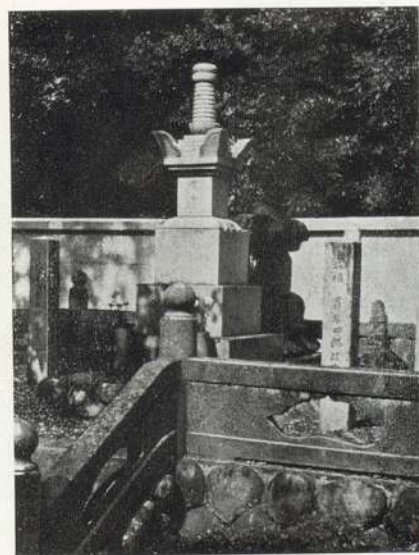
富士浅間宮赤鳥居



妙日寺

妙日寺

貫名山と称し祖師日蓮上人の父母貫名二郎重忠並びに梅菊の墓所である。因に重忠一族所領の争に連座し罪ありとの疑によって安房国小湊に流されその地によって日蓮上人誕生した。重忠没後その遺言により父親歴代所領の当寺に墓所を定めたものである。



貫名二郎の墓

海蔵寺

応永18年開創、大洞六派の門首、総持寺孫末。

龍巢院

当寺は室町時代末期文明17年浅羽町梅山岡本家の次男僧名太素省淳和生家より財産を貰い分家として開創した。



海蔵寺



龍巢院





天理教 山名大教会

### 大塚古墳

後醍醐帝の第二皇子宗良親王の御陵であるという。



大塚古墳

### 百八穴

奈良朝以前の所謂横穴古墳で大小48の横穴が現存して居る貴重な遺跡である。明治初年坪井博士によって発掘されたときは、人骨、土器、勾玉等が掘出され、昭和3年3月本県史として指定された。



### 天理教山名大教会

袋井駅西に聳える壮大な建造物は天理教屈指の大教会である。

### 朝長公の墓

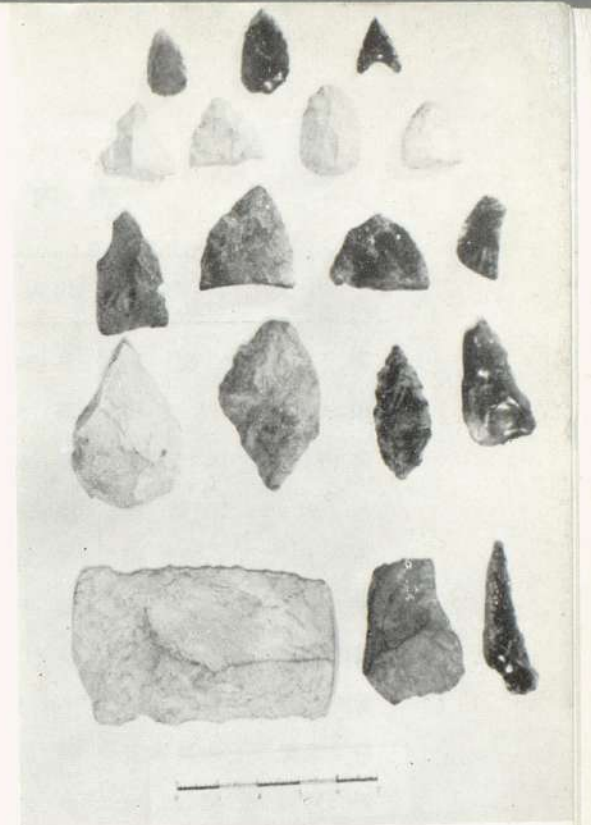
源義朝の二男にして友永積雲院境内にあり。祭典は毎年8月15日夜。



朝長公の墓

### 古墳及び出土品

本市における古墳を見れば、大塚古墳(直刀、馬具、玉類、土器など非常に優秀な遺物を出した立派な古墳で当地方最古のものと考えられる)から本市古墳文化は開始され続いて菅ヶ谷横穴古墳群、石野塚などがこれに次いでいる。尙昭和32年12月国学院大学考古学研究室の手によって新たに菩提古墳の発掘が行なわれ全国でも珍しい子供の墳墓、勾玉、管玉、須恵器、土師器等数々の資料が掘り出され、その中全国でも極めて珍しい1万年近く前の石器も発見され目下整理研究中で、これがまともれば本市の古代文化が明るみに出るものとして期待されている。



出土品の数々

### 菩提古墳の石室



大塚古墳の土石品